

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

139

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

『夢追人』に思いをよせて…

女子レスリング金メダリスト

吉田 沙保里 さん





真言宗総本山
東寺
(教王護国寺)

日本で最初に誕生した密教寺院で、真言宗の総本山。世界遺産の東寺は796年に創建。平安遷都の際に、平安京の正門である羅城門を挟んで西寺とともに建立された。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

『夢迫人』に思いをよせて…

女子レスリング金メダリスト **吉田 沙保里** さん

■道のり ————— 6

AI・ICT推進プロジェクト

■なかま ————— 8

URAURA八野 癒し系

放課後等デイサービス URAURA八野

眞弓 類 さん

■ハートフルリレー ————— 9

目に映る世界に彩を

南勢就労支援センター

第2南勢就労支援センター

■春夏秋冬 ————— 10

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 18

合同慰霊祭

グループホーム栗の木に花壇新設

■職員の休日 ————— 20

心の洗濯 ～魚と向き合い現実逃避～

第2南勢就労支援センター **杉原 博史**

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

『夢追人』に

思いをよせて…

女子レスリング金メダリスト

吉田 沙保里 さん

よした さほり
吉田 沙保里

来歴

生年月日：1982年10月5日

出身地：三重県津市

血液型：O型

出身中学校：二志町立二志中学校

出身高校：三重県立久居高校

出身大学：中京女子大学（現至学館大学）

三人兄妹の末っ子として生まれる。3歳の時に、父が開いていたレスリング教室で、レスリングを始める。

女子レスリング世界大会16連覇、個人戦206連勝

2012年には13大会連続世界一を記録し国民栄誉賞受賞

紫綬褒章受賞（2004年、2008年、2012年）

2019年現役引退

今回は、レスリングの選手としてご活躍され、現在、多方面で活躍の吉田沙保里さんに、インタビューをさせて頂きました。インタビューは二見生活介護支援センター潮音の千草と武中です。

Q1. レスリングを始められたきっかけはお父様とお聞きしますが、レスリングの魅力を教えてください。

吉田さん：1対1で戦う競技で、自分の持っているもので何も使わずに相手を倒すよう勝負していく事、白黒がはっきりしている事、習得してきた事が生かされた時は嬉しく、負けて次の目標に繋げてきた事が達成された時は、やってよかった瞬間ですね。楽しいです。でも、きっかけは、楽しいところからではなかったかもしれません。レスリングは、もの心つく前からやっています。家に道場があり、そういう家庭環境で生まれた事、そして頑張ってきたからこそころがあり、両親には感謝しています。

Q2. 一番心に残っている試合をよかったら教えてください。

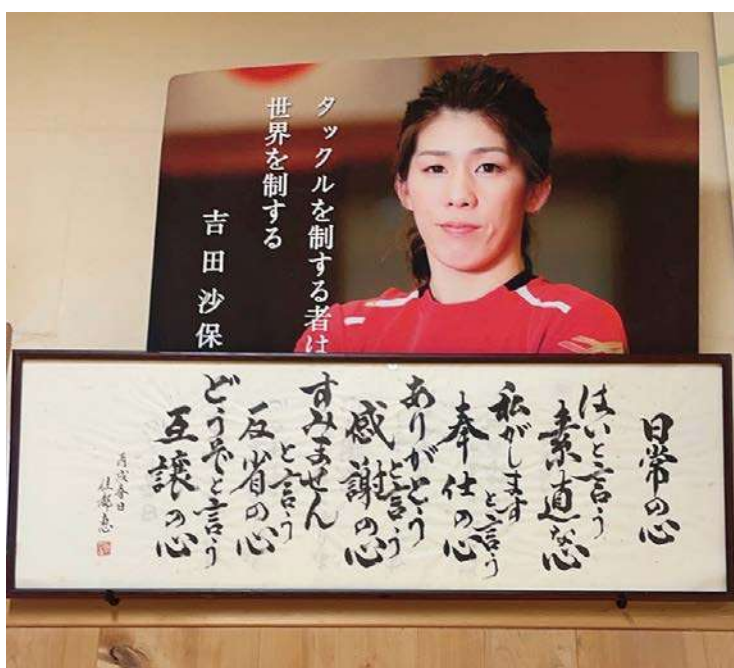
吉田さん：一番心に残っている試合ですか。決めるのは難しいですね。オリンピック、世界選手権大会といういろいろありますが、国内での試合で、ライバルの山本聖子さん(現在はダルビッシュ有さんの奥様)に勝てたことは凄く印象に残っています。あと、アテネオリンピックでの優勝が一番の壁だったと思います。そこがあつたからこそ、自信がつかましたね。連勝記録もスタートしていいかと思っています。



世界大会でのメダル

Q3. ブログに、教訓というタイトルで、日常の心が掲載されていましたが、大切にされている言葉はありますか？

吉田さん：日常の心は、練習が終わったら必ず読んでいました。私は五常の心という内容でこの言葉を読み続けて育ってきました。当たり前すぎになり、ちょっと忘れてしまう時もあり、改めて、自分に言い聞かせるためにも今回掲載しました。奉仕の心や感謝の心といった気持ちを忘れずにいたいですね。これは、実家から写真を送ってもらいました。大切な言葉：私は色紙にサインする時に、



教訓

『夢迫人』という言葉を必ず添えて書きます。夢を追ってきて、夢があつたからこそ、ここまでやってこれました。出会った方が、夢を追いかける人であつてほしい気持ちをこめています。夢や目標はいくつになってもできると思っています。無ければ今からでも持つていただき、その夢に向かつていくことで、明るく楽しくなると私は常に思います。大切な言葉はまだまだ沢山ありますが、この言葉が一番好きですね。

Q4. ブログやZIPP!でご出演された時にトレーニングをされているお姿を拝見しています。現役の時はもちろん、現在でも集中力を高めるために、されていることはありますか？



パラリンピック ボッチャ



東京2020オリンピック ソフトボール取材&応援

吉田さん：私は普通にON、OFFの切り替えが早いです。練習に入るとONになり、レスリングシューズを脱ぐとOFFになります。昔から切り替えができています。これは、家に道場があった事もあり、家の中なので、どこかで切り替えをしなければいけない環境でした。マットの上では、父（栄勝さん）は厳しかったです。ONの状態で集中しないとケガしますので、小さい時から自然と日常のなかで取り入れられたと思います。集中しなければいけない時、そうでない時の切り替えは今でも早いですね。

Q5 10月にお誕生日を迎えられた沙保里さん、やりたい事があれば教えてください。今後の展望や目標があれば教えてください。

吉田さん：引退してからいろいろ自分のやりたいことをさせてもらっています。今、これがやりたいことはないですね。でもやっぱり結婚ですかね。これはもうタイミングだったり、いい人が現れたらとは思っています。

インタビュー：ウッドパズルもいろいろされていますね。

吉田さん：コロナ禍ですることがなくて、始めたんですよ。



ウッドパズル

Q6 三重県の一志のご出身の沙保里さん、当法人は、現在外出支援の活動を自粛しておりますが、コロナウィルスが落ち着いたらお出かけしたいと思っています。県内で一番好きな場所や好きな食べ物教えてください。

吉田さん：伊勢神宮、長島スパランドだったり、いっぱいありますよね。結構、全国でも大会でいろんな所には行っています。あまり出かけてはいないんですね。実家で近くとなると、そうですね、サオリーナは私が名前をつけさせてもらっていて、一度行ってみてほしいなと思います。

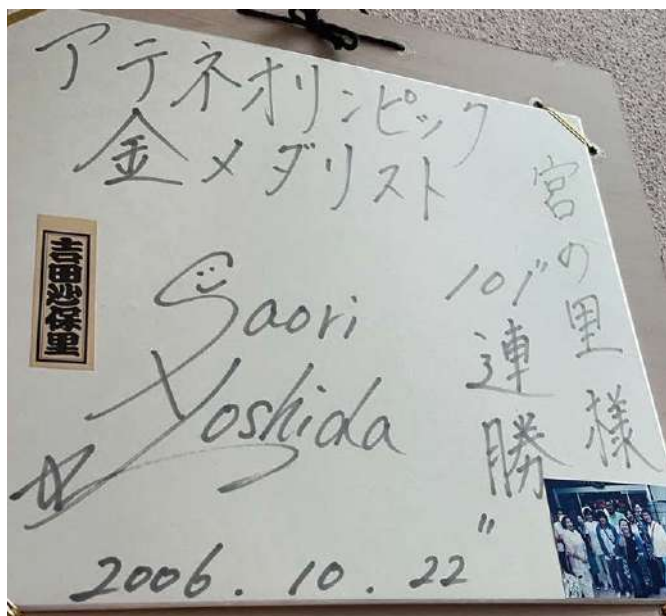
インタビュー：実は法人での運動会をサオリーナで開催しています。沙保里さんの大きなフィギア像の前で皆さん写真を撮られています。また落ち着いてきたら、行事も楽しんでいきたいと思っています。

吉田さん：そうだったんですね！好きな食べ物、お肉です。松阪牛有名ですよ！鳥羽なら、美味しい魚ありますよね。

インタビュー：お父様が、鳥羽の答志島に魚釣りに来ておられましたね。

吉田さん：釣りに行く時は、前の晩から嬉しそくに用意をして、私が朝起きるとすでに出掛けていましたよ（笑）。

インタビュー：JAPANのジャージを着て、釣りを楽しんでおられましたね。魚は釣れても釣れなくてもここにこされていいですよ。



宮の里

Q7. 2006年10月に当法人の宮の里ミタスメモリアルホームに來所して頂いた経緯がありますが、障がいを持たれた方との関わりは今までありましたか？

吉田さん：父が仕事で障がいの方と関係があり、オリンピックが終わってから、そちらへ訪問し、交流させてもらいました。皆さん一生懸命生きておられるという事が凄く伝わってきました。自分でできることを頑張らせてきていて、勉強になりました。逆に励まされ、勇気づけられましたね。

Q8. 今回オリンピックやパラリンピックでの取材をされて、感じられたことはありますか？

吉田さん：今まで、現役選手の時とは質問される事に答えればよかったのですが、今回、人に伝えなければいけない側になった時に、凄く大変で難しさを感じ、勉強させてもらいました。勝った選手に聞く質問はしやすいですが、負けた選手に勝ち負けがある中で質問をしていく事が大変でした。私もリオのオリンピックで負けて、あれだけ泣いていたので、インタビューをされた方は大変だっただろうな、気を遣わせてしまったなと凄く感じる事がありましたね。負けた選手に質問しないわけにはいかないのです、その選手の気持ちになって寄り添い話をさせてもらいました。取材を通して、人間として成長させて頂きました。

Q9. TVではいろいろな番組で拝見しております。今後の活動での出演予定があれば教えてください。

吉田さん：いろいろな仕事がありますが、取材やロケをしたりして、番組には出演させてもらっています。ZOO!は今後もスポーツ企画で出演しますし、東海テレビのスイッチ!には隔週の月曜日に出演しています。SNSを通して番組の告知をしていますので、ぜひご覧くださいね。

Q10. コロナ禍の為、三重国体も開催中止となりましたが、レスリングに頑張っている子ども達へメッセージをお願いします。



東京2020オリンピックレスリング取材&応援

吉田さん：目標にしていた大会が無くなってしまつて…皆さん目標や夢を持つて頑張っていたと思います。特に3年間という短い中学校や高校生活の中で、2年間大会もなく、親御さんも頑張っている姿を観に行ったり、応援にも行けず、本当に辛い思いをされていると思います。が、これは日本だけではなく、世界中が同じ理由。決して無駄にはなっていないです。将来に繋がっています。ここが踏み張りどころだと思います。ここで諦めた人が負けだと思っています。これが試練。神様から与えられた試練だと思つて、今度は次に向けて何をしたらいいか新たに考えてほしいですね。これはスポーツの世界だけではなくありません。音楽や飲食店等お店の人も大変な思いをされています。生きていく事が大変な状態です。高校時代は戻ってきませんが、次のステップとしてどうしていくかを考えて、前へ前へ気持ちを進めていってください、これから目標や夢に向かって頑張つてほしいです。逆に考えてしまつとどうしてもマイナス思考になってしまいます。どうすれば

元気になっていくか…プラスに考えて、コロナでなくても、自分にとってこれはこうだったから、こうなったんだとポジティブに考えていつてほしいです。私はそうやって今まで人生を歩んできたので、プラスに考えて、何か失敗があったとしてもそれはいい経験としてプラスに捉えてきましたね。プラス思考ですね。

Q11:最後に、様々な障がいを抱えながら日々の生活を送っている方たちに対してメッセージを頂けないでしょうか?

吉田さん:…人生一度きりです。ポジティブに考えて頂き、これからも目標や夢に向かって頑張ってください。応援しています!

今回、緊急事態宣言中にインタビューを依頼させて頂き、リモートでの取材となりました。またお会いできることを楽しみにしております。お忙しい中、ありがとうございます。



東京2020オリンピック聖火



インタビュー中



リモート時



インタビュー後



アンケートの音声入力

令和2年10月、「A・I・C・T推進プロジェクト」が立ち上がった。長期的な視野で、きれいな仕事の仕方やサービスの在り方を、A・I・C・Tを用いて変えていくというプロジェクトだ。スタートから1年が経過した中で、現在どのような形になっているのかをみなさんにご紹介したい。

まず取り上げるのは、Googleサービス「Gメール」の職員への普及だ。Googleアカウントで、社内全体をつなげれば、Googleワークスペースという共有スペースを介して、情報を「いつ」「どこにいても」やり取りできるようになる。そうすれば事務処理など、パソコンを用いた作業はテレワークで行える。実際に、少しずつではあるがテレワークも行われている状況だ。Gメール普及率はまだ職員全体の6割弱、今後5年以内に8割まで展開させていく。

利用者さんへの支援記録のデジタル化も進めている。支援記録ソフト「ほのぼの」が八野生活介護センターに導入され、食事や日中活動などの記録をその中で一括管理。事務所でしか入力できなかった記録を、デイルームなどからも直接できるようになった。また職員の勤務シフト作成や、利用者さんの送迎時の出欠確認にもシステムを導入し、効率化を進めている。こうした取り組みによって、職員の間接稼働、つまり利用者さんへの関わり以外の業務を効率化し、直接支援のための時間を増加させることで、個別ケアの充実と人手不足へのアプローチを目指している。



Ipad とテレビをつないでます

またICTの面でいえば、Zoomの活用も定着した。Zoomを使って各施設から直接集まらずに会議をすることは、もはや当たり前になっている。利用者さんご家族の方との面会にもZoomは活用されている。入所施設ではiPadを数台導入し、全国でのコロナ感染状況が厳しく、緊急事態宣言発令下でも、Zoomを使用してリアルタイムでのお話をしていただけた。

また南勢就労支援センターでは、利用者さんへのアンケートに音声入力アプリを使用。アンケートの結果を、テキストマイニングという手法を使って分かりやすく画像化している。またiPadをロビーのテレビにっ

なき、動画サービスを利用者さんに提供したりなど、ICT時代ならではの工夫を実行中だ。きれいな会のAI・ICT推進の動きはまだまだ進行中である。今後さらに進化を遂げ、利用者さんへの「支援の質」の向上を図っていく。



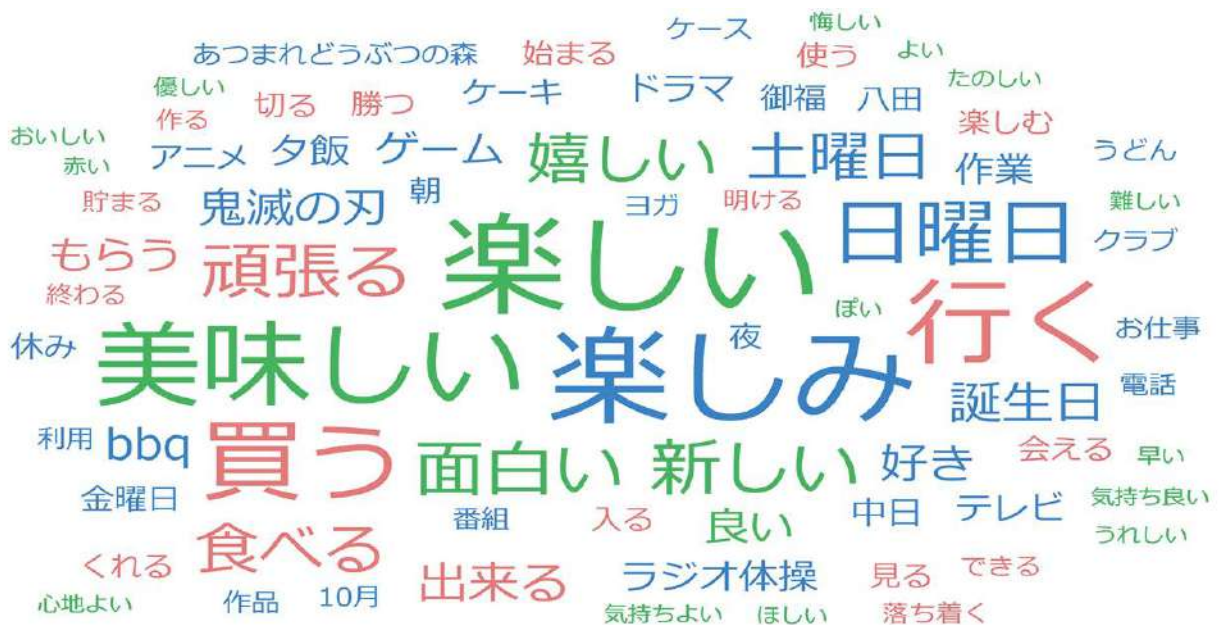
ZOOM用の端末



送迎アプリ



ZOOM風景



テキストマイニング



URAURA八野癒し系

放課後等デイサービス
URAURA八野

眞弓 類さん

URAURAの立ち上げ初期から在籍している眞弓類さん。
現在は、城山支援学校高等部1年生。

URAURAでは、「一人カラオケ」で大きな声で歌う事、「図鑑をみる事」がお気に入り。もちろん、みんなで一緒に活動するのも大好き！職員が「やってくれる人？」と聞くとすぐに手をあげてくれたり、スケジュールを読んだりたくさん声を出してくれる。声を出すタイミングも合うようになってきている。最近では「NO」を言える事、「抱んだ物を離す」事を練習中。いつも笑顔が絶えませんが、待っているときや、そばにいる人が泣いていると寂しくなって話しかけてくるナイーブな類さんの姿も。

ご両親はお店をしていて忙しいが、みんなでF1を見に行くなど 家族の時間を大切にされている。類さんには、「自分から発信できるようになってほしい」と考えてみえて、URAURAでは少しでもその手伝いができたらと考えている。



類さんのご両親のお店です。



パラバルーンに大興奮



キノコができたよ！



大玉を蹴とばす類さん



歩行器で館内散歩



中学生の時の類さんです

目に映る世界に彩を

南勢地区の就労支援センターは取り組みは違えど利用者さんの自己承認力を高める取り組みを行っている。南勢就労支援センターはグッドアンドニュー。第2南勢就労支援センターはほめほめリレーだ。利用者さん一人ひとりが楽しく施設を利用でき、小さな自信を積み重ね、自信をもって生活できるようになって頂けることを目指した取り組みをしている。

良かったと感じた事、新しく発見したことを発表し、拍手を通じ承認を得るグットアンドニュー。相手のいいところを褒めることをバトンしていくほめほめリレー。取り組みは違っても利用者さん一人ひとりの承認を行い少しの変化を積み重ね自信をもってもらいたい。

今の自分にはない能力を身に着け、自由に飛び回り、プライバシーを侵害される心配もなく、会いたい人に会い、やりたいことをやれる。不由極まらない自分から解放され、時間を忘れることが出来る。そんな二次元的な喜びではなく、今の自分が必要とされている事を強く認識でき、曇っているかもしれない世界を色鮮やかな輝きに満ちた世界に変えて生きてほしい。



これが私の褒める人



グッドアンドニュー発表中



拍手！

南勢就労支援センター
第2南勢就労支援センター

八野生活介護センター

ハロウィンイベント

10月29日(金)、日中活動にてハロウィンイベントを行った。午後からハロウィンの衣装を行い、魔女やカボチャ等の衣装をし、写真撮影を行った。今回は新しく、悪魔の衣装や仮面の種類が増え、仮装のバリエーションが豊富になった。皆さん楽しそうに仮装して楽しんだ。

カボチャのおぼけに当てる的あてを行った。職員の手作りの的あてを皆さん上手に当てていた。怒った顔のカボチャよりかわいい顔のカボチャに当てる方が多かった。



魔女に仮面を



可愛いカボチャに向けて



カボチャがネクタイに



職員も交じって参加



仮装 勢ぞろい



新聞紙釣り上げゲーム

毎週月曜日午前に、作業療法士の中村さんによるリハビリ体操を行っている。ラジオ体操で体をほぐした後、棒を使って体操。座って膝裏に棒を通したり、足を伸ばして棒でつま先をタッチする体操を、利用者さん達は一生懸命にしている。他にも折り紙をしたり、箱の中の新聞紙のたばを棒で釣り上げるゲームをすることも。楽しみながら運動ができるプログラムに、皆さん笑顔で汗を流している。



棒がつるつるして少し難しい



折り紙を教わっています



棒体操!

作業療法士によるリハビリ体操

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

落ち葉のランプシエード

紅葉した落ち葉、珍しい形の葉っぱを拾い集めランプシエードを作成。

クリアファイルに挟み込んでくると巻いた簡単な作り方。たくさん葉っぱを「どれにしよう」「どこに置く」とデザインしていく楽しみを味わっていただきたかったので、みなさん、ささっと決断し、ぱぱっと置いて手早く完成。灯りをとすると「わあ」と声を出し覗き込んでいた。その姿に、職員も思わず笑顔に。

作製したランプシエードは、URAURAの出入り口等に飾った。



この辺におこう！



この葉っぱ面白いな。



灯りをとしてみよう。



きれいで、笑える(ハハ)

放課後等デイサービスURAURA稲生

アスレチックでリフレッシュ！



これはなんなくクリアー



一歩一歩慎重に



バランス上手に取れたよ



バランス取るのが難しい



「丸太すべり」にもトライ



「きね渡り」に初挑戦

10月23日(土)、施設から車で40分程の所にある、亀山市郊外の観音山公園(関ロジ)で、野外アスレチックを楽しんできた。

当日は晴天にも恵まれ、秋空の下、体を動かすだけで、少し汗ばむ陽気の中、久しぶりの外での空気をたくさん吸い、リフレッシュもできた。

普段、よく出かける公園の遊具とは違い、「ビックリ平均台」や「丸太橋」などに、恐る恐る慎重にトライ。「木のゴンドラ」や「木株とび」などにも、みんなで助け合いながら挑戦。10種類以上のアスレチックをクリアーした。

長い間、外での活動を控えていたので、これからもコロナが収束に向かうことを願い、屋外活動を楽しみたい。

八野就労支援センター

グリーンプロジェクト

10月26日(火)、障害者自立支援プロジェクトの一環で、鈴鹿西ロータリークラブが主催する「グリーンプロジェクト」に参加。施設の隣にある、深谷公園の花壇整備を行った。たくさんパンジーの花の苗を植え、最後に「きれいに咲いてね」と魔法の言葉をかけた。暖かくなり、みんなで散歩へ行った時に、満開に咲き誇った花々を見ることが楽しみである。



丁寧に植えていきます



きれいに咲いてね



花壇の完成が楽しみ!



交流を楽しみながら

はちの森まつり

11月13日(土)、はちの森まつりが開催。テーマは「ハッピー」。利用者さんが主体となる行事を目指して、一緒に行事名を決めたり、ポスターや手作り商品の作成、ステージの練習などの準備を進めてきた。当日は良い天気にも恵まれ、大盛り上がりのダンスコンテストやファッションショー、模擬店やゲームコーナーを楽しみ、ハッピーな時間を過ごすことができた。



大盛り上がりのステージ



楽しく踊りました



ハイポーズ!



ファッションコンクール優勝!



ダンスコンテスト優勝!

きれいサポートステーション

サポートウォーカー

11月6日(土)、約1年半ぶりになるサポートウォーカーを実施した。サポートウォーカーの目的は地域の歴史を調べながらの散策で、今回の場所は神戸城跡。鈴鹿市役所から15分歩き、交通ルールを学びながら神戸城跡に向かった。500年ほど前に建築されたお城で、現在お城そのものは残っていないものの、周りの堀や石垣、石碑などが残っており歴史を感じることができた。また市役所の展望台にも上がり、15階からの鈴鹿市の景色を楽しんだ。半日のウォーキングだったが平均して6000歩も歩き、ちよつと良い運動になった。



神戸城跡を背景に



石碑で勉強



歩行者の基本マナー



鈴鹿市役所展望台から鈴鹿の町並み観覧

ハロウィンパーティー

10月30日(土)、サポートステーションでハロウィンパーティーを開催した。当日は事前に仮装大歓迎と伝えていたこともあり、約3分の1の人が仮装をしてきた。中には保護者さん自作の見事な刺繍が入ったマントを仮装してくれる人もいた。それぞれの場所で班に分かれてもらい、モグラたたきやどんぐり移し、おやつ釣りなどのゲームを楽しんでもらった。最後は利用者さんと一緒に作ったホットケーキや玉子サンド、寒天ゼリーを皆で仲良く食べた。昨年から始めて2回目の行事で、今年はとても盛り上がったので是非来年も楽しみにしたい。



母の手作りマントです!



どんぐりお皿渡し



ハッピーハロウィン!



釣れない...

南勢就労支援センター

南勢バーベキュー大会

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまったバーベキューを、10月23日(土)、南勢就労支援センターでは、約2年ぶりに開催した。

感染症対策として、今年度の開催場所は施設の敷地内(芝生広場)。手指消毒や飲食時以外のマスクの着用と黙食を徹底し、栄養士の指導のもと、職員が調理や配膳をおこなった。

当日は天候にも恵まれ、青空の下で松阪牛や職員手作りの焼きそばを召し上がっていただき、みなさん大満足な様子だった。

お腹がいっぱいになった後は、個人対抗のOXゲームとグループ対抗のピンポン玉リレー！

それぞれに景品が準備されていたので、みなさんとても張り切っていた。強風でピンポン玉が転がっていつてしまつハプニングもあったが盛り上がり、笑顔が絶えない1日を過ごす事が出来た。

今後南勢では、今の生活様式に合ったイベントを開催していく。



職員が調理しました



やきそば



お肉おいしい!



お肉焼き中



お玉でピンポン玉リレー!

第2南勢就労支援センター

想像から創造へ



シャキーン!



制作中!!



みんなで作りました

「コスプレをやってみよう」この何気ない発言から月に一度あるクラブの取り組みが決まった。
古着を持ち寄り自由に組み合わせ衣装を作る。作ってみたいものを自由に考え自由に作る。
制限のかからない中で自分たちの想像力を最大限にはたらかせそれぞれの作品を作る姿は実に楽しそうである。
第2南勢就労支援センターでは作業の観点以外からも利用者さんの能力の向上に取り組んでいる。
生きていくために必要なことを人が持つ多面的な角度からこれからも支援を行っていきたい。

喜びは土の中に埋まっていた

【さつまいも】ビタミン類は、ビタミンD・Kを除いてバランス良く含んでおり、とりわけビタミンB1・B6・C・Eを多く含んでいる。ミネラル類では、余分な塩分を排出する作用があるカリウム、鉄欠乏性貧血の予防に欠かせない鉄、赤血球を作るのに欠かせない銅、性ホルモンの合成を助けるマンガンなどに富む。

採る喜び、調理する喜び、調理したものを美味しくそくに食べてもらえる喜び、食べる喜び。土の中に埋まっていた塊根は利用者さん一人一人に様々な喜びを与えていた。心も体も温まる日常の一コマである。



美味しいよ!



いも うまっ!



とったどー!

宮の里ミタスメモリアルホーム

スタンプラリーで近所散策



イエーイ 一番!



ゴールはもうすぐ!



このスタンプは何だ!牛?



渋滞していますよ~



エイエイオー 気合を入れてさあ出発!



素敵な笑顔



なんて美味しそうな焼き芋でしょう



お散歩気持ちいいね~



全部擦せたね



安納芋美味しすぎるー!



きちんと擦せたかな~

11月18日(木)、天候にも恵まれ、みんなでテクテクとスタンプラリーを楽しんだ。久しぶりに外の空気に触れながら行えるイベントにみんなの顔は自然と綻んだ。4組に分かれて施設をスタート。スタンプ地点は2か所設置。木漏れ日の中、ゴールに向かって進む利用者さんの台紙は手作りの判子でいっぱいになっていた。そして:ゴールをした者だけが味わえる「ホカホカのやきいも」を美味しくいただき、コロナ禍で凝り固まった心もふわっと柔らかく解してくれる一日だった。



お菓子くれないといたすらっしゃうぞー?



僕の使い魔はふなっしー。



笑顔になる魔法をかけてあげる

今年もハロウィンの季節がやってきた。ハロウィンの衣装を身に着けた可愛いモンスターになって記念撮影をした。記念撮影の後は医務室や事務所に隠されたお菓子を探しにみんなでレッツゴー! 美味しいお菓子を見つけたかな? 合言葉はトリックオアトリート!

Happy
Halloween!

二見生活介護支援センター潮音

ハロウィンカラオケ

10月30日(土)、日中活動の時間を利用してハロウィンカラオケを行った。ハロウィンと言えば…？仮装！潮音では仮装グッズを用意して、利用者さんに仮装して頂いた。魔女のどんがり帽子、蝙蝠の羽をモチーフにしたカチューシャ、お化けの顔の被り物といういろいろある。「これにする！」と選ばれた利用者さん、職員が選り身につけられた利用者さん、皆さんとてもお似合いだった。また、仮装をしてのカラオケは大盛り上がりだった。日中活動の短い時間だったが、ハロウィンの雰囲気味わっていただけた。最後にお菓子ジュースをいただき今年のハロウィンカラオケはおひらきとなった。



イエーイ☆



大熱唱!!



さあ!歌うぞ～



ハイ!チーズ!

個別タイム

潮音では、毎月の活動に個別タイムがある。個別ケアタイム計画やケアプランでの要望に沿って、その日の担当職員と個々で活動をしている。個別タイムの日は、朝から自分の担当職員は誰かな?今日は何をしようかな?と自発的に話されることも増えてきた。季節の創作活動やリハビリ、好きな音楽を聴かれたり、ゲームを楽しまれたりと多種多様だ。皆さん個々で楽しまれている様子。その中で、緊急事態宣言が解除された今は、利用者さんが大好きな散歩がOK!となり、対策を取りながら出かけている。秋の優しい日差しや風を感じられ、伸び伸びとされており、表情も素敵だ。



ひなたぼっこ



はいちーず!



出来上がり～



真剣です



今日はこの本!

合同慰霊祭

10月16日(土)、南勢地区合同慰霊祭を行った。前日の天気予報では雨だったが当日は少し雲が多かったもののスッキリとした暑いぐらいの陽気だった。利用者代表で潮田美奈子さんが弔辞を読み上げ、無事慰霊祭は終了。今年もコロナ感染防止に努め、少人数での開催とさせて頂いたが、来年はご家族さんも参加して頂ける世の中になっていることを心より願っている。



慰霊祭開催前



利用者さんによるお焼香



辻田施設長による献花

10月23日(土)、合同慰霊祭及び永太供養法要が、合同慰霊碑前にて行われた。今年は20年間八野生活介護センターで暮らされた米川昭子さんが亡くなられ、哀しみの広がる年となった。今年は新型コロナウイルスにより物故者の家族の参加ができなかった年となった。

慰霊碑に眠る16名の物故者の皆さんを偲んだ。年に1度の慰霊祭を機会に、先立たれた皆さんが、私たちのすぐそばに建つ慰霊碑から見守って下さっていることを感じる。来年こそは日常を取り戻し、たくさんの仲間やご家族の皆さんと「合同慰霊祭」でお会いできることを願っている。



職員代表の追悼の言葉



田辺施設長による献花



理事長による献花



献花の様子



花祭壇



奥野様追悼の言葉



葬家様焼香

11月15日(月)、伊勢会館にて、本年度の合同慰霊祭が執り行われた。コロナ禍での開催となったため、参列いただいたのはきれいな関係の葬家様3葬家、伊勢会館の利用者さん、南北の葬祭職員のみで総勢35名程の小規模での開催となった。

10時30分に定刻通りの開式、慰霊供養として円珠院ご住職の読経、献灯の儀、本年度の物故者534名の名簿が流された。名簿の中に自分のご家族の名前を見つけ、涙されているご遺族もおられた。

ご遺族代表奥野様より追悼の言葉を頂戴し、葬家の皆さまにキャンドル献灯していただいた後は、参列者全員で献花をさせていただいた。隅館長の挨拶を最後に本年度の慰霊祭は閉式となった。

今回、参列した葬祭職員の中にご家族を亡くされた方がいた。「まさか自分が遺族側として参加できるとは思っていなかった。心に沁みて感動した。慰霊祭をする意味を実感できた。」というお言葉を頂いた。

毎年、慰霊祭は日曜日開催だが、本年度は平日だったため利用者さんもお参加となった。献花とお辞儀の練習をして本番に臨み、緊張した様子だったが練習の成果を発揮された。

グループホーム栗の木に花壇新設

グループホーム栗の木に、手作りの花壇ができた。2ヶ月ほどをかけ、職員と利用者さんで力を合わせた力作だ。以前より、入居者の方に、何かやりがいのある余暇時間の過ごし方を模索していた。それならホームの一角のスペースを花壇にして、みんなで飾り付けたり、お花の世話をしよう！という思いから始まったものだ。

作成スペースの草取りから始まり、土がもれないようにブロックで内取り。竹の杭やペットボトルも土にさして補強した。ペットボトルにはみんなで色を塗り、花壇に彩りを添えている。

ペットボトルの色付けも、2しの大きさだとなかなか大変で、1時間位の集中した時間がある。細かいところは職員が補助しながらも、出来る部分は利用者さんに全てしていただいた。

そして来る冬に強いパンジーをみんなの手で植えて、きれいな花壇が完成。花壇を前に、みんなとても誇らしげな表情を浮かべていた。現在、係を決めて水やりをするのが、新たな日課となっている。いつも花壇の様子をみては、「今日はお花が元気やったー」という方もいて、身近に自然に触れあえる場となっている。もし近くに立ち寄る方がいれば、ぜひ完成した花壇をみていただきたい。



パンジーとペットボトルの花



花壇の前で



風車も制作



ペットボトル塗り



匠の技です

職員の休日

OLIDAY

心の洗濯 魚と向き合い現実逃避

第2南勢就労支援センター 杉原 博史

現在まかせ太くん担当として毎日草刈りや不要品回収など利用者さんと汗をかいて就労支援させて頂いています。私の休日は現実逃避です。僕には現実逃避できる相方がいます。今回はその相方を紹介します。しかも海外育ち！

属名はMicropterus

ブラックバス

皆さんがよく知っている名だとBbでしうか？

河川や湖沼に生息し、獰猛な肉食性で他の魚類や水生節足動物、水面に落下した昆虫、カエル等を捕食する。そんな彼らを相手に僕は休日には現実逃避しています。

Bbは、釣りの対象魚として人気があり、疑似餌のルアーを使つてのルアーフィッシングが一般的です。他に生きた小魚を使つての泳がせ釣りや、エビやミミズなどの生き餌を使つたウキ釣り、毛鉤の一種であるフライを使つたフライフィッシングが知られています。僕は断然ビックベイトですね！そんなBbを相手にしている私ですが夜明けから日没まで彼らと向き合い自然を満喫して心の洗濯をしています。

現実逃避と心の洗濯

自分なりのストレス解消をして明日からの業務に励んでいきたいと思つております。



私のアイテムたち



いざ！



静寂の場



成果!!!

八野生活介護センター

南勢就労支援センター

宮の里ミタスメモリアルホーム



水flow 廣大



林 祐子



畑 智恵
生活支援員



西川 志保
看護師

二見生活介護支援センター潮音



伊藤 由美



瀬崎 薫



上井 恵



奥本 安子



大越リサ
生活支援員



濱地武蔵
生活支援員

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

伊勢亀鈴会 法人本部

2021.9月16日~2021.12月15日

岸 美枝子様

八野町ランドゴルフ会長

福祉葬祭三重

2021.9月16日~2021.12月15日

浄運寺様

春養院様

真善寺様

菩提寺様

野里 浩様

喪主様

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

139号の編集長を務めさせて頂きました、二見生活介護支援センター潮音の千草と申します。

初めての編集長という事で、戸惑う事も多く、編集委員の方々のおかげで無事発行する事が出来ました。ぜひ一つ一つの記事に込められた思いを読んで頂けたらと思います。作成にあたりご協力を頂いた多くの方々に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

千草

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター

担当:中野 TEL059-378-8881

宮の里ミタスメモリアルホーム

担当:加藤 TEL0596-58-5030

二見生活介護支援センター潮音

担当:岡島 TEL0596-72-8822

きれい通信

ちょっと寄り道!!



マルシェヴィンソン



わくわくジャム置いてあります



ホテルヴィンソン



三重県初出店の猿田彦珈琲

VISION

ヴィンソン

日本最大級の商業リゾート施設

2021年7月20日にグランドオープンした日本最大級の商業リゾート施設「VISION(ヴィンソン)」

4月から3期に分けて開業し、東京ドーム24個分(約119ヘクタール)の広大な敷地に、ホテル、産直市場、薬草湯、体験型店舗、飲食店舗、オーガニック農園など73店舗が出店する多様性と専門性を兼ね備えた施設となっている。自然に囲まれた敷地内は9つのエリアに分かれており、有名シェフが手がける飲食店や、三重県初出店の人気店も多い。マルシェヴィンソン内では第2南勢就労支援センターのジャムを販売している。「食」の充実はもちろん、体験型ワークショップや温泉もあり、「遊び」「癒し」も集結し、歩いているだけで楽しい施設になっている。

※なお、感染症対策として、入り口での手指消毒、密にならないような移動にご配慮いただき、お立ち寄りください。

Access

多気郡多気町ヴィンソン672番1

指定就労継続支援B型事業所

八野就労支援センター印刷係

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp

VISION内マップ



指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA八野

〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA稲生

〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所

八野就労支援センター

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉の森の家 体にいいおにぎり屋

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたがー든)

〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ

(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)

〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい みや川

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所

きれいサポートステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所

きれいライフステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

宮の里ミタスメモリアルホーム

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

宮の里ライフステーション

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所

二見生活介護支援センター 潮音(しおね)

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所

指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所

南勢就労支援センター

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

お弁当屋 潮音(しおね)

〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)

TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817

e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

第2南勢就労支援センター

〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 白子

〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 津

〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢

〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所

まかせ太君(鈴鹿)

〒513-0836 鈴鹿市国府町字高群3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所

まかせ太君(伊勢)

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451

印刷